

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 18 日現在

機関番号：32508

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22300085

研究課題名(和文) 情報専門職教育における学位・資格の国際的な同等性と互換性に関する研究

研究課題名(英文) Equivalency and Reciprocity of Academic Degrees and Professional Qualification in Library and Information Professionals

研究代表者

三輪 眞木子 (Miwa, Makiko)

放送大学・教養学部・教授

研究者番号：90333541

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,900,000円、(間接経費) 2,970,000円

研究成果の概要(和文)：内外の有識者インタビュー調査により、図書館情報専門職の学位・資格の国際的同等性と互換性の実情を把握した。専用ウェブサイトを開設し、世界各国の図書館情報専門職養成コアカリキュラムデータを収集・分析した。アジア・太平洋地域の学校図書館の国際研修プログラムを開発しセミナーの形で実施した。世界各国・地域の有識者に当該地域の図書館情報専門職教育の動向と質保障に関する論文の執筆を依頼し、論文集を編纂した。

研究成果の概要(英文)：We identify the situation of global equivalency and reciprocity of academic degrees and professional qualifications for the library and information profession. open a website to collect core curriculum data in library and information studies and presented the results of data analysis, and compiled a book titled "Quality Assurance in LIS Education - An International and Comparative Study." We developed a model training program for school librarians and operated it as an international seminar.

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：図書館情報学・人文社会情報学

キーワード：情報資源の構築・管理 図書館情報専門職教育 高等教育の質保障 国際動向調査 比較図書館情報学
学校図書館員

1. 研究開始当初の背景

世界の高等教育の動向を見ると、社会人の生涯学習機会の増加や eLearning 等の遠隔教育による国境を越えた教育機会の増加により、高等教育機関への入学者が増大した。こうした状況を背景に、高等教育の全領域における国際的な質保障を学位・資格の相互認証に向けた取り組みが欧州を中心に進展しており、図書館情報専門職の養成についても、学位・資格の国際的な同等性と互換性に関する議論が展開されてきた。そこでは、従来の、学位・資格のために学生が何を学んだかを問う規範的な評価に基づく教育プログラムの認定から、学位・資格を取得した結果、学生には何ができるのかを問う学習アウトカムに基づく評価に焦点が移行しつつあり、図書館情報専門職の学習アウトカムを査定するためのコンピタシ基準に関する議論が展開されていた。

図書館情報学領域の専門職団体を統括する国際組織である国際図書館連盟 (IFLA) の教育・訓練分科会 (Education and Training Section) では、1987 年に「図書館情報教育プログラムのためのガイドライン 2000 (Guidelines to Equivalence and Reciprocity of Professional Qualifications)」を発表し、図書館情報専門職教育プログラムの国際的な同等性と互換性に関する議論を進めてきた。同分科会は、2008 年に暫定版の「図書館情報専門職資格の同等性と互換性に関する国際的ガイドライン (International Guidelines for Equivalency and Reciprocity of Professional Qualifications)」を公表し、2009 年のミラノ大会において、各地域の研究組織である、EUCLID、ALISE、A-LIEP、および発展途上国関心グループの代表が参加し意見を交換するラウンドテーブルを開催した。そこでは、各国の歴史や文化的背景を踏まえた独自性を尊重する評価基準や認証手続きの実現が望まれた。

2. 研究の目的

欧州のポーロニャ・プロセスを契機に、図書館情報専門職の学位・資格の国際的な同等性と互換性に関する議論が、世界各国・地域で展開されている。本研究では、近隣のアジア・太平洋地域を中心に、北米、欧州の先進国、アフリカ、中・南米の発展途上国におけるこの議論の進展を監視するとともに、この領域における教育・実践・研究の基礎データを収集・組織化し公開した。その作業を通じて、日本国内にこの問題に関する対応を喚起するとともに、伝統的な国際比較図書館学を現代の情報社会に適用した国際図書館情報学 (GlobalIS) の枠組みを構築した。併せて、この問題に取り組む研究者間の国際交流で得られた知見を現実レベルに還元するために、アジア地域での学校図書館の共通カリキュラム作成のための国際共同セミナーを企画・実施した。

3. 研究の方法

本研究では、平成 22 - 23 年に、図書館情報専門職教育に関連する国際会議やセミナーに参画するとともに、世界各国の教育機関や専門職団体の代表者へのインタビュー調査を通じて、図書館情報専門職教育の質保障に向けた取り組みとしての図書館情報学専門職の学位・資格の国際的同等性と互換性に関する展開を把握した。また、平成 22 年度に専用ウェブサイト GlobalIS (<http://www.globalis-net.com/>) を立ち上げて、ボランティアによる世界各国の図書館情報専門職養成のためのコアカリキュラムデータを収集し、その結果を国際会議等の場で関係者に報告した。平成 24 年度には、アジア・太平洋地域における学位・資格の国際的同等性と互換性を推進するために、この地域の学校図書館の国際研修プログラムを海外の研究者・教育者と共同で開発しセミナーの形で実施した。また、世界各国・地域の有識者に当該地域における図書館情報専門職教育の動向と質保障に関する論文の執筆を依頼し、論文集「Quality Assurance in LIS Education - An International and Comparative Study」を編纂した。この論文集は、2004 年 6 月に印刷版と電子書籍の両形態で Springer 社から出版されることになった。

4. 研究成果

(1) ウェブサイト GlobalIS の立ち上げとコアカリキュラムの情報収集

【活動概要】レンタルサーバ (クラウド) 上に本研究用に新たに取得したドメイン (Globalis.com) 名でウェブサイトを開設し、修士レベルの図書館情報専門職教育プログラムのコア科目情報を英語で収集するためのデータベースを立ち上げた。国際会議等で高等発表・ポスター発表を実施して、ボランティアによるデータ入力の協力を呼びかけるとともに、プロジェクト・メンバーが分担してデータ入力を行った結果、2013 年度末時点までに 18 カ国の 34 教育プログラムで開設されている計 286 コース (モジュール) のデータを収集した。データベースに登録されたコアカリキュラムのコースデータを地域別・主題別に分析した結果を、日本図書館情報学会のシンポジウムと国際会議 A-LIEP2013 で発表することで、この問題に関する関係者の注意を喚起した。

【得られた知見】データベースに登録された 286 件のコース (モジュール) のデータを、LIPER プロジェクトで提案された 8 領域 (「図書館情報学基礎」「情報利用者」「情報資源組織化」「情報メディア」「情報サービス」「情報システム」「経営管理」「デジタル情報」と「その他」) に分類して、各地域の特徴を把握した。アジア地域の教育プログラムでは、「図書館情報学基礎」(入門コース)「情報資源組織化」(印刷媒体中心) および「その他」(主に修士論文) が多い。オセアニア地域の

教育プログラムでは、テクニカルサービスを重視する伝統を反映して、「情報資源組織化」（印刷媒体と電子媒体）が多く、「経営管理」と「情報サービス」も比較的多い。北米の教育プログラムでは、必ず調査研究法のコースが設置されているため、「図書館情報学基礎」が多い。一方、カリキュラムの標準化が進んでいるためか、「その他」に分類されたコースは皆無であった。ヨーロッパ地域の教育プログラムでは、MLA 連携による文化遺産の電子化の努力を反映して「情報利用者」と「情報システム」および「デジタル情報」の比率が高い。

【研究成果】海外のカリキュラム動向調査の分析結果から、以下を把握することができた。

- ・専門職資格が館種別に認定されている国や地域は日本以外には存在しない。
- ・伝統的な印刷媒体中心のプログラム（アジア地域に特徴的）と新たに出現した情報通信技術中心のプログラム（北米に典型的）の両極化が進んでいる。
- ・北米は iSchool のプログラム（情報通信技術中心）で調査研究手法と電子情報資源の組織化を重視する傾向が進展している。
- ・アジアは、伝統的な図書館情報学プログラムと新たな iSchool の両極化が進んでいる。その中で、伝統的なプログラムは印刷媒体中心で修士論文を要求しており、図書館資料電子化の遅れと博士学位を持つ有資格教員の不足が見られる。これに対し、アジア地域に出現した iSchool は、情報通信技術による知識管理を重視している。
- ・ヨーロッパは、文化遺産の電子化を背景に、図書館・博物館・アーカイブズを統合し、利用者行動と情報通信技術のスキルと知識を重視する傾向が見られる。

以上の結果から、日本の図書館情報専門職教育国際化の課題として、以下の点を把握した。

- ・日本の図書館情報専門職教育システムを国際的に透明化する必要がある。
- ・海外との同等性を図るためには館種別ではない図書館情報領域を包括する資格制度を構築する必要がある。
- ・図書館情報専門職のコンピタンス定義に基づくアウトカム評価をする必要がある。
- ・国際的に等価性のある修士レベルのカリキュラムを開発・運用する必要がある。
- ・図書館情報専門職資格の国家間相互認定を担当する組織を日本国内に設置する必要がある。

(2) アジア太平洋地域の学校図書館国際研修プログラム共同開発とセミナー開催

【活動概要】2013年1月12日、“School Library Initiatives for Asia & Pacific” (SLAP、アジア太平洋学校図書館イニシアチブ) を、東京大学本郷キャンパス福武ホールにおいて実施した。「アジア・太平洋地域における学位・資格の国際的同等性と互換性を推進する」という本研究全体の目標を、学校

図書館領域において具体化する試みである。

フォーラムはアジア環太平洋における先進的な取り組みの紹介と、専門的知識の向上のための3つのワークショップによって構成された。

【研究テーマと講師】講師とテーマは以下のとおりである。

- 1) 導かれた探究 Guided Inquiry (探究学習)
Leslie Maniotes 博士 John Amesse
Elementary, Denver Public Schools,
Educational Leader (米国)
- 2) 学校図書館の歴史と制度 Lim Peng Han
博士 University of Malaya, Sports
Centre; Visiting Research Fellow (シンガポール)
- 3) 学校図書館とカリキュラム Susan La
Marca 博士 Head of Library Services,
Genazzano FCJ College, Adjunct Lecturer
Charles Sturt University, Wagga Wagga
(オーストラリア)

【研究成果】フォーラムには韓国やシンガポールからの参加者を含め20名ほどの参加があり、日本の参加者の英語でのポスター展示、アジア各国の参加者の出身国の事例紹介や研究成果の発表を基に活発な議論が行われた。その模様はビデオに記録され、英文字幕が付けられ、近日中の公開を予定している。

平成25年8月には、本研究の成果として、International Association of School Librarianship (IASL-国際学校図書館協会・インドネシア・バリ開催)において、研究分担者河西由美子(筆頭著者)が、“Core Interests of School Library Practitioner in Asia and Pacific Region: SLAP (School Library Initiatives for Asia & Pacific) Forum 2013 Report”(査読論文)を発表した。発表後、学校図書館の発展途上にあるアフリカの参加者から「国際的な地域連携の取り組みとしてアフリカ諸国にも参考となるもの」との意見を得た。

(3) 図書館情報専門職教育の質保障に関する国際比較論文集の編集

【目的と背景】国際比較論文集刊行の最初の目的は、「情報専門職教育における学位・資格の国際的な同等性と互換性に関する研究」の研究成果の一つとして、アジア地域を中心とした各国の図書館情報学教育の質保障に関する制度をまとめ、Global LIS上で公開することであった。プロジェクト開始当時、世界各国の図書館情報学教育に関する論文集や研究書はいくつか出版されていたが、一国あるいは同地域の数か国を対象としたものがほとんどであり、世界各国・地域の図書館情報学教育を広く扱った文献はわずかであった。さらに質保障という新しいテーマに焦点を当てた図書は、研究書から大学院生が使うような教科書レベルのものも含めて、日本はもとより海外においても刊行されていなかった。

近接領域である高等教育研究では、教育の質保障に関する研究書が国内外で相次いで出版されていたこともあり、科研メンバーの間で、世界各国・地域の図書館情報学教育の最新事情と、質保障制度に関する情報収集の成果を公開することが必要であるとの共通認識が生まれた。そこで GlobalIS サイトのコンテンツの一つという位置づけで、各国の図書館情報学教育や質保障の制度をまとめたものを pdf で公開するという計画で研究に着手した。

しかし調査が進み、本研究の重要性への認識が高まる中で、サイトのコンテンツだけでなく、「国際論文集」としてモノグラフのような簡易的な形態でよいので出版すべきであるという方向性が生まれた。また本研究プロジェクトのメンバーのみが執筆するのではなく、各国の図書館情報学教育を専門とする研究者に対して執筆者を募ることが決まり、サイトでの案内の他、国際会議 (A-LIEP 2011) の発表の際に企画概要を説明し、執筆を広く呼びかけた。

【出版に至る過程】「国際比較論文集」の企画を進めていたところ、平成 24 年 4 月に出版社 (Springer) から印刷版として出版することを提案され、企画の見直しを行った。結果、質保障の概論、GlobalIS プロジェクトについての第 1 部、アジア地域の各国の制度についての第 2 部、各地域の質保障についての第 3 部で構成とすることとした。また執筆者は、公募では集まらなかったこともあり、これまでの論文や学会発表などの実績をもとに、東アジア、東南アジア、西アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ、北米、南米の各国・地域を代表する研究者に個別にメールで依頼を行った。多忙や高齢、専門分野の変更などを理由に当初計画していた依頼者に次々と断られ、また執筆を受諾してもその後連絡が取れなくなったり、最終的に断られたりと、依頼から論文の回収まではかなり難航した。その結果、国際比較論文集の意義を認めて協力を受諾した執筆者に、限られた時間で原稿を執筆してくださった。

【研究成果】本論文集は、アジアを中心とするこの国、およびアジア、中東、北米、南米、欧州という地域の、図書館情報学教育と質保障制度の現状を広く網羅した論文集となり、特に質保障に関する包括的な研究書としては、世界初の成果である。執筆者は各国・地域で広く知られる研究者であり、各国・地域の事情や課題等を踏まえた、深い洞察に基づく研究論文集になっている。英語での文献の少ない中南米や中東などの地域に関する章が含まれているので、図書館情報学研究における質保障の入門書・研究書として、学問上意義にあるものとなった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 10 件)

宮原志津子. シンガポールの図書館情報政策と専門職教育の現在. 情報管理. 査読無. 2014 年 10 月号掲載予定

河西由美子. 学校図書館研究の国際的な展開 : SLAP (School Library Initiatives for Asia &

Pacific) フォーラム報告. 学習情報研究. 231 号, pp.49-55. 2013 年 3 月号

宮原志津子. IFLA シンガポール大会へのおさそい(3)シンガポールの図書館を訪ねてみませんか. 図書館雑誌. 査読無. 107 (6), 2013, p.360.

三輪眞木子. 検索のゆくえ, 情報の科学と技術, 63 巻 1 号, 2013, 2-8p.

三輪眞木子. 図書館情報専門職教育の課題: 国際的な調和を目指して, 情報管理, vol.54, no.10, 2013 611-621. doi:10.1241/johokanri.54.611

宮原志津子. フィリピンの図書館専門職国家試験に関する検討. 相模国文. 査読無. 39, 2012, pp.83-93.

ワタナヌシット プラチャーク, 宮原志津子 (訳). シリントーン王女による王室の支援のもとでのタイ図書館協会の物語 (特集 世界の図書館協会). 現代の図書館. 査読無. 50(4), 201, pp.236-240.

タン ジン, 宮原志津子 (訳). シンガポール図書館協会は、レリバンスを追求する時代に入った (特集 世界の図書館協会). 現代の図書館. 査読無. 50(4), 2012, pp.232-235.

三輪眞木子. 遠隔教育を支援する大学図書館の電子図書館サービス. メディア教育研究. 査読無. 7, 2011, pp.S11-S18. http://www.code.ouj.ac.jp/media/pdf/vol7no2_shotai_2.pdf

Hiroya Takeuchi, How the digital era has transformed ILL services in Japanese university libraries: A comprehensive analysis of NACSIS-ILL transaction records from 1994 to 2008. Interlending and Document Supply. 査読無. 39, 2011, pp.32-39.

〔学会発表〕(計 5 件)

Yumiko KASAI, Leslie Maniotes, Lim Peng Han, Susan La Marca. Core Interests of School Library Practitioner in Asia and Pacific Region. A. Elkins, J.H.Kang, & M.A. Mardis (Eds.), Enhancing Students' Life Skills Through School Libraries. Proceedings 2nd Annual International Conference Incorporating The 17th International Forum On Research In School Librarianship August 26 - 30, 2013 Bali, Indonesia. pp.94-108.

Makiko Miwa, Shizuko Miyahara, Yumiko Kasai and Hiroya Takeuchi Global Trends in LIS Education: An International Comparison of Graduate-Level LIS Programs. Proceedings of A-LIEP2013, July 10-12, 2013.

http://aliep2013.com/images/download/pdfs_upd/PaperNo19_cover-added.pdf
Makiko Miwa, Yumiko Kasai, Shizuko Miyahara. Toward quality assurance of LIS education in Japan. ALISE Working in Progress Poster, 査読有. Annual Conference, January 47, 2011, San Diego.

Makiko Miwa, Yumiko Kasai, Shizuko Miyahara. GlobaLIS: An Effort to Describe Trends in Japanese LIS Education for Global Collaboration, Proceedings of A-LIEP2011, June 22-24, 2011, Putrajaya, Malaysia.

Hiroya Takeuchi, Akira Nemoto, Makiko Miwa, Yuko Yoshida, Eiji Aoyagi, Kenji Koyama, Fukushi, Imai. Library and Information Science Examination: A Report on Provisional Implementation in Japan. Proceedings of A-LIEP2011, June 22-24, 2011, Putrajaya, Malaysia.

〔図書〕(計 6 件)

Makiko Miwa. GlobaLIS: Toward the Regional Cooperation in the Education of Library and Information Professionals in the Asia-Pacific Region. In Makiko Miwa. and Shizuko Miyahara (eds.). Quality Assurance in LIS Education: An International and Comparative Study, Springer, 2014 (In Press).

Shizuko Miyahara. Regional Quality Assurance System for Higher Education in Southeast Asia. In Makiko Miwa. and Shizuko Miyahara (eds.). Quality Assurance in LIS Education: An International and Comparative Study, Springer, 2014 (In Press).

Yumiko Kasai. International Developments in School Library Studies: A Report on the School Library Initiatives for Asia & Pacific (SLAP) Forum. In Makiko Miwa. and Shizuko Miyahara (eds.). Quality Assurance in LIS Education: An International and Comparative Study, Springer, 2014 (In Press).

Shizuko Miyahara. The Diversity of LIS Programs in Southeast Asia. In Makiko Miwa. and Shizuko Miyahara (eds.). Quality Assurance in LIS Education: An International and Comparative Study,

Springer, 2014 (In Press).

三輪真木子; 河西由美子, 3.情報利用者と情報行動, 図書館情報学基礎(シリーズ図書館情報学 1), 東京大学出版会, 2013, pp:95:152.

三輪真木子, 情報行動:システム志向から利用者志向へ, 勉誠出版, 2012, 205p.

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.globalis-net.com>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

三輪真木子 (MIWA, Makiko)

放送大学・教養学部・教授

研究者番号: 90333541

(2) 研究分担者

河西由美子 (KASAI, Yumiko)

多摩川大学・教育学部・淳教授

研究者番号: 10365869

松嶋(宮原)志津子 (MATSUSHIMA, Shizuko)

(H22)

相模女子大学・学芸学部・専任講師

研究者番号: 3270700422

中村百合子 (NAKAURA, Yuriko) (H22)

立教大学・文学部・准教授

研究者番号: 80411057

(3) 連携研究者

竹内比呂也 (TAKEUCHI, Hiroya)

千葉大学・文学部・教授

研究者番号: 10290149